

2013年9月13日

シャトルシステムに代わり新たな連絡通路を供用開始！

～ 「選ばれる空港」を目指した新たなステージへ ～



連絡通路(外観)

成田国際空港第2旅客ターミナルビルにおいて、本館とサテライトを繋ぐ新たな連絡通路が下記のとおり供用を開始いたします。

この連絡通路(出発動線用及び到着動線用通路:幅約6.5m、長さ約220m、ムービングサイドウォーク併設)には柱や窓枠を極力減らし、開放感を感じさせるデザインとしており、移動しながらパノラマ眺望をお楽しみいただけます。

また、昼間は自然採光のみによる明るさを確保することで照明電力の節減を図り、空調も地中熱を利用して環境負荷軽減を考慮した設計となっております。

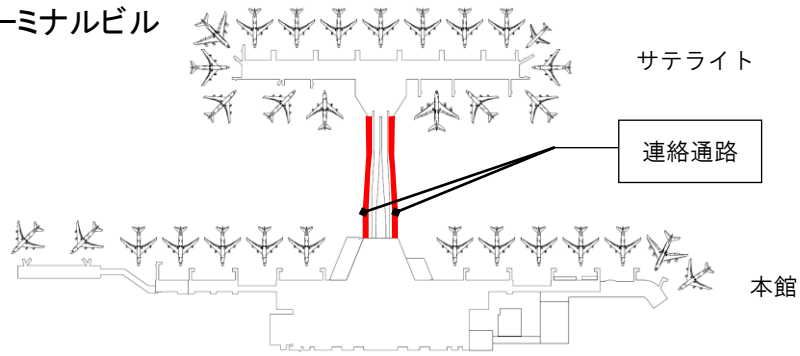
この連絡通路の供用により、以前のようにシャトル乗降所においてお客様をお待たせすることなく、本館とサテライト間のスムーズな移動が可能となり、空港容量拡大に伴って増加が予想されるお客様への利便性向上が図られます。

なお、これに併せて当ビル供用開始以来、本館とサテライトを繋いで、お客様にご利用頂いて来たシャトルシステムは運行を終了します。

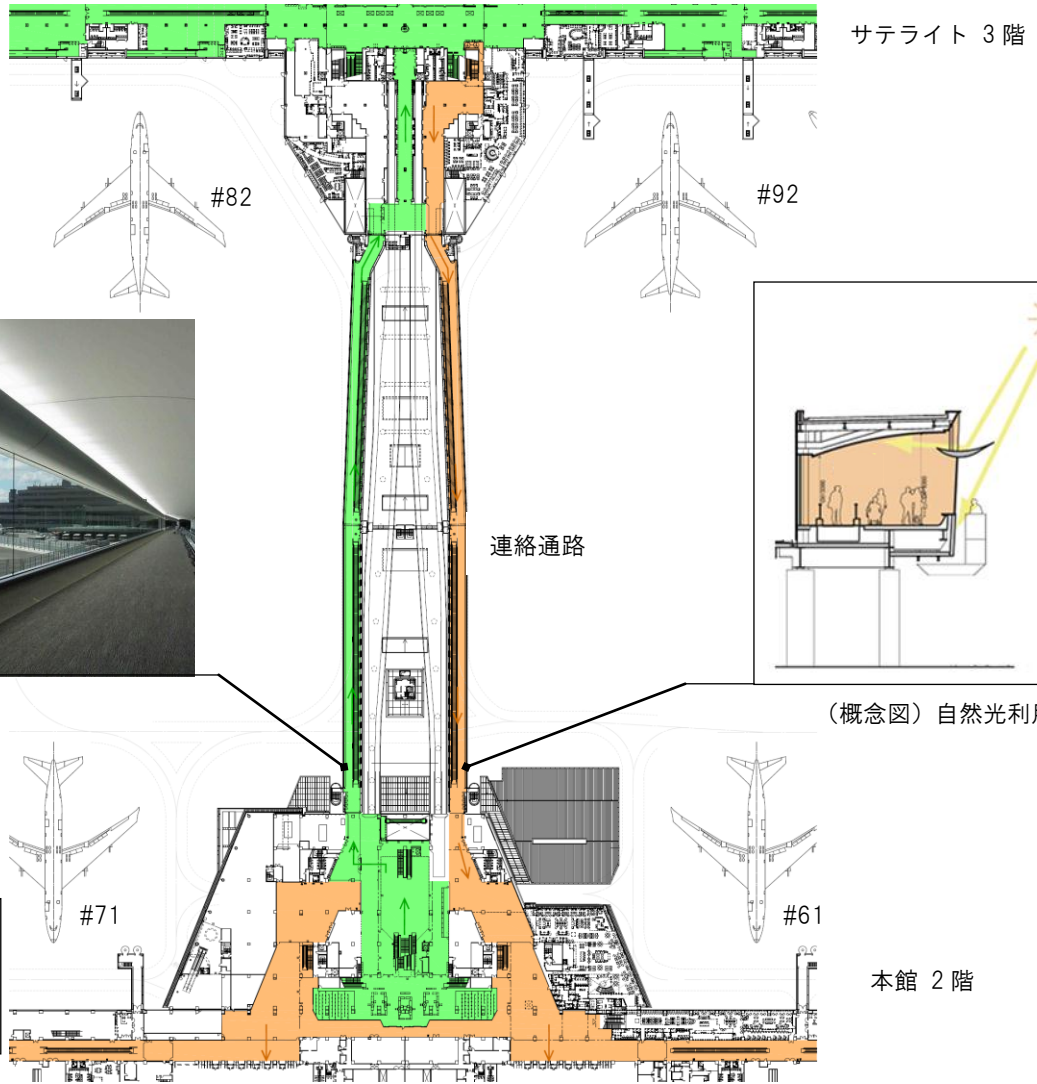
記

- ◆ 名 称: 第2旅客ターミナルビル連絡通路
- ◆ 場 所: 成田国際空港第2旅客ターミナルビル(次頁参照)
- ◆ 供用開始日: 9月27日(金)06:00～

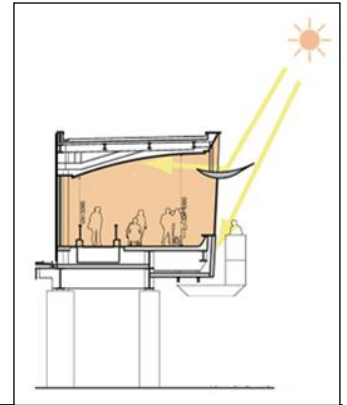
(位置図) 第2旅客ターミナルビル



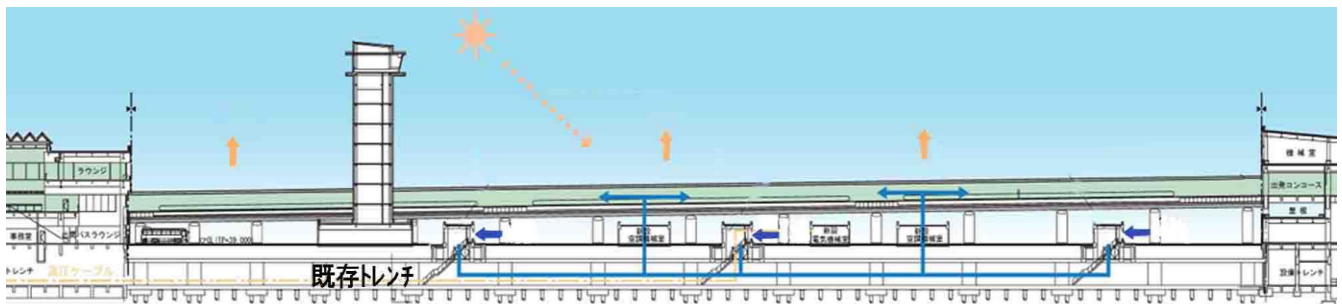
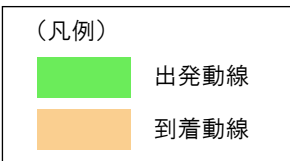
(施設概要)



連絡通路からの眺望



(概念図) 自然光利用



(概念図) 地熱利用